

平成20年8月20日
消 防 庁

「救急統計活用検討会」の発足

消防庁は、ウツタイン統計として、心肺機能停止傷病者の救急搬送に関するデータを収集しています。また、救急業務統計として、救急業務全般に関するデータを収集しています。

このような統計をより適切に活用するため、昨年度は、「ウツタイン統計活用検討会」を開催し、ウツタイン統計活用に際しての個人情報保護上の留意点や、統計の具体的な活用方法等について検討を行いました。

今年度は、「救急統計活用検討会」を開催し、ウツタイン統計に関しては、昨年の報告書を元に、救急救命士が行っている救急救命処置の効果について、データに基づく評価等を実施する予定です。

また、救急業務統計に関しては、救急搬送者に関するより詳細な分析方法や救急調査オンライン処理システムを活用した、新型インフルエンザ発生時の救急搬送サーベイランス情報の収集のあり方等について検討する予定です。

救急統計活用検討会は、平成20年8月25日（月）に発足し、第1回検討会を開催することになりましたのでお知らせいたします。



(連絡先)

消防庁救急企画室

担当：溝口専門官、小坂橋係長

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

1 主な検討内容

(ウツタイン統計)

- ・ 救急救命士が行っている救急救命処置の効果についてデータに基づく客観的な評価を行う。
- ・ 地域の救急業務実施体制が救命率に与える影響について分析を行う。

(救急業務統計)

- ・ 近年増加している救急搬送について、より詳細な分析を行うため、搬送者の疾病区分、年齢区分の細分化など調査項目の見直しを行う。
- ・ 救急調査オンライン処理システムを活用した、新型インフルエンザ発生時の救急搬送サーベイランス情報の収集、消費者等の安全の確保につながる救急事故情報の収集のあり方について検討を行う。

2 日時等

平成20年8月25日(月)に第1回検討会を開催します。

今後、平成20年度中に検討会を約6回開催し、報告書を取りまとめる予定です。

3 検討会構成員等

別紙1参照

4 参考資料

1) 「ウツタイン統計活用検討会」報告書の公表について

消防庁HP <http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/200417/200417-1houdou.pdf>

2) 「平成19年版 救急・救助の現況」

消防庁HP <http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/200222/200222houdou.pdf>

3) 様々な条件下での救急救命処置の生存率への効果に関する結果報告

「ウツタイン様式調査オンライン処理システム」平成17年中登録データ(確定)概要・平成18年中登録データ(速報)概要

消防庁HP <http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/190906-2/190907-2houdou.pdf>

※「救急事故等報告要領に基づく救急年報報告」とは、救急業務が法制化された昭和38年以降、救急事故等報告要領の調査項目に基づいた、救急体制や救急業務に関する実態調査の報告であり、全国の消防関係機関を対象に情報収集を行っており、毎年、「救急・救助の現況」として冊子を作成し、取りまとめています。

※「ウツタイン様式」とは、心肺停止症例をその原因別(心臓に原因があるものかそれ以外か)に分類するとともに、心肺停止時点の目撃の有無、バイスタンダー(その場に居合わせた人)や救急隊員による心肺蘇生の有無やその開始時期、除細動の有無などに応じて傷病者の経過を詳細に記録することにより、地域間・国際間での蘇生率等の統計比較を可能とするガイドラインです。1990年にノルウェーの「ウツタイン修道院」で開催された国際蘇生会議において提唱されたことからこのように呼ばれます。

海外では、都市や地域単位、病院単位で導入した例はありますが、国単位で情報収集するのはわが国が初めてであり、平成17年1月より、全国の救急搬送の対象となった心肺停止症例について、情報収集しています。

救急統計活用検討会 構成員

(五十音順・敬称略)

- 朝 日 信 夫 (前救急振興財団副理事長)
- 岩 佐 智 生 (愛知県防災局消防保安課主幹)
- 緒 方 賢 義 (佐賀広域消防局消防課長)
- 岡 村 智 教 (国立循環器センター予防検診部部長)
- 菊 池 清 博 (横浜市安全管理局救急課長)
- 坂 本 哲 也 (帝京大学医学部救命救急センター教授)
- 佐々木 靖 (札幌市消防局警防部救急課長)
- 田 中 秀 治 (国土舘大学大学院救急救命システムコース教授)
- 長 尾 建 (日本大学医学部駿河台病院循環器内科教授)
- 二 宗 伸 介 (大阪市消防局警防部救急担当課長)
- 平 出 敦 (京都大学大学院医学研究科医学教育推進センター教授)
- 横 田 裕 行 (日本医科大学救急医学主任教授)
- 山 本 保 博 (日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院院長)
- オブザーバー
久保田 勝 明 (総務省消防庁消防大学校消防研究センター主任研究官)

平成20年8月20日
総務省消防庁

「救急統計活用検討会（第1回）」の開催

標記について、下記のとおり開催することといたしましたのでご案内いたします。

なお、場所の関係で、椅子席を用意できない場合や、入場を制限させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

記

- 1 日 時
平成20年8月25日（月） 16時00分から18時00分
- 2 場 所
東京都千代田区平河町2-4-3
ホテル ルポール麹町（麹町会館） 2階 サファイア
TEL 03-3265-5365
- 3 主な検討事項
 - 1) 救急統計活用検討会の目的
 - 2) 救急統計活用の現状と課題の紹介
 - ウツタイン統計活用について
 - 救急現況報告の活用について
 - 3) 今後における研究の方向性と進捗スケジュールについて
- 4 傍聴に当たっての注意事項
 - 1) 報道関係者の入室は、15時45分から可能とします。
 - 2) 撮影に関しては、冒頭の座長のあいさつが終了するまでとします。
 - 3) その他、総務省職員の指示に従うようお願いいたします。

(連絡先)

消防庁救急企画室

担当：溝口専門官、小坂橋係長

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539